

# 景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン

平成16年3月

景観に配慮した防護柵推進検討委員会

## 景観に配慮した防護柵推進検討委員会名簿

委員長	天野 光一	日本大学理工学部社会交通工学科 教授
委員	佐々木 葉	早稲田大学理工学部社会環境工学科 教授
	吉田 愼悟	色彩計画家
	吉岡 耀子	(株)JAF MATE 社 出版部長
	三井田康記	特定非営利活動法人(NPO)さんが俤座 理事長
	松本 道湛` (綿 勝雄)	鋼製防護柵協会技術委員会 委員長
	川畑 耕一	(社)セメント協会コンクリート普及専門委員会 委員長代行
	弘永 眞人	(社)日本アルミニウム協会土木製品開発委員会 委員長
	今村 浩人	(財)林業科学技術振興所 理事
	藤田 保雄	福島県土木部道路領域道路企画グループ 参事
	萩原 松博	東京都建設局道路管理部安全施設課 課長
栗原 廣行	広島市道路交通局道路部 整備担当部長	
国土交通省	中島 威夫	国土交通省道路局国道・防災課 課長
	森永 教夫	国土交通省道路局地方道・環境課 課長
	大西 博文	国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究部長
	三浦 真紀	国土交通省道路局地方道・環境課 道路交通安全企画官
	森 望	国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究部 道路空間高度化研究室 室長
オブザーバー	国土交通省北海道開発局、各地方整備局並びに内閣府沖縄総合事務局 日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団	
事務局	(財)国土技術研究センター 調査第二部	

( )内は前任

# 目 次

1 . ガイドラインの概要	1
1 - 1 ガイドラインの目的と役割	1
1 - 2 適用する道路と防護柵の種類	1
1 - 3 ガイドラインの構成	2
2 . 道路の景観と防護柵に係る課題	4
2 - 1 沿道の特性と道路の景観	4
( 1 ) 市街地の道路景観	4
( 2 ) 自然・田園地域の道路景観	6
2 - 2 道路敷地内からの景観（内部景観）と敷地外からの景観（外部景観）	7
( 1 ) 道路敷地内からの景観（内部景観）	7
( 2 ) 道路敷地外から眺めた道路自体の景観（外部景観）	8
2 - 3 防護柵の課題	9
( 1 ) 防護柵の設置上の課題	9
( 2 ) 防護柵の景観上の課題	10
< 参考：防護柵の概説 >	14
( 1 ) 防護柵の機能	14
( 2 ) 防護柵の設置区間	15
( 3 ) 防護柵の種類と形式	17
3 . 景観的配慮の基本理念	20
( 1 ) 代替策も含め防護柵の必要性を十分に検討する	20
( 2 ) 構造的合理性に基づいた形状とする	20
( 3 ) 周辺景観との融和を図る	21
( 4 ) 近接する他の道路付属物等との景観的調和を図る	21
( 5 ) 人との親和性に配慮する	21
4 . 景観に配慮した防護柵整備にあたっての留意事項	22
4 - 1 防護柵設置の判断と対応	22
( 1 ) 必要性の判断	22
( 2 ) 景観に優れた他施設による代替	23
( 3 ) 道路の新設時、改築時における景観的配慮	26

4 - 2	形状	28
(1)	シンプルな形状(付加的な装飾の抑制)	28
(2)	透過性への配慮	30
(3)	存在感の低減	31
(4)	人との親和性等に配慮したデザイン、材質	32
4 - 3	色彩	35
(1)	防護柵の色彩の基本的な考え方	35
(2)	防護柵が設置される構造物との色彩調和	39
4 - 4	防護柵の統一と他施設との調和	40
(1)	防護柵の形状・色彩の統一	40
(2)	他種の防護柵との統一	41
(3)	道路管理者間での調整	42
(4)	近接して設置される他の道路付属物等との調和	43
(5)	整備時期のずれについての対応	44
4 - 5	視線誘導への配慮	45
4 - 6	コストと維持管理	47
(1)	コストを考えた防護柵の設置	47
(2)	維持管理を考えた防護柵の設置	48
(3)	破損時等における防護柵の適切な修繕・更新	49
4 - 7	その他	50
(1)	暫定供用時の景観についての検討	50

## 5 . 景観的な配慮が特に必要な地域・道路 51

## 6 . 景観に配慮した防護柵整備の進め方 54

6 - 1	防護柵に係るマスタープランの策定	54
(1)	マスタープランの定義と策定目的	54
(2)	マスタープランの内容	54
(3)	マスタープランの対象範囲	56
(4)	マスタープランの策定主体	56
6 - 2	マスタープランに基づく防護柵の選定	58
6 - 3	地域意見のとりまとめ	59
6 - 4	事後評価の実施	60